

令和7年度 第2回 船越小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月9日（水） 13時30分から15時35分まで
- 2 開催場所 船越小学校 会議室、音楽室
- 3 出席委員 藤本 桂、石川 公子、永田 真也、山内 雄一郎、山田 佳敬、
杉山 勝彦、杉原 将吾、権瓶 悠
- 4 欠席委員 鈴木 仁
- 5 オブザーバー 島 一道（中部協働センター）、名倉 久純（前学校運営協議会委員）
- 6 学 校 中村 竜久（校長）、田内 乃理恵（教頭）、美和 泰子（教務主任）
波多野 祐子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議記録作成者 CSディレクター 波多野 祐子
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、山内委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

（1）学校の教育課題と対策についての協議（グループワーク）

12 会議記録

司会の美和（教務主任）から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校の教育課題と対策についての協議（グループワーク）

①グループワークの説明

②グループワーク テーマ「たくましさ」と「しなやかさ」を育むために

＜記号の説明＞

○児童の実態のよいところ

●児童の実態の課題

☆それぞれの立場（地域住民・保護者・教員）としての思い、願いや要望

【Aグループ： 藤本委員、永田委員、大谷、杉本、都木、長尾】

○素直で優しい。一生懸命。元気。決まりを守る。挨拶ができる。

○自分とは違う多様な個性も受け入れる柔軟さがある。

●自分で考えて行動することが少し苦手。

●自己肯定感が低い。周りに合わせてしまう。

●認知のゆがみによるトラブルがある。（発達特性）

☆失敗した時に、次にやるべきことを一緒に考えたい。（教員）

☆子ども達に地域をもっと知ってもらいたい。（委員）

☆誰とでも仲良く、多様性を認めるようになってほしい。（教員）

☆一人一人に寄り添い励ます。（教員）

【Bグループ： 石川委員、名倉、小楠、石田、宮澤、田中】

○元気。明るい。おだやか。素直で優しい。落ち着いている。まじめ。

○集団の中で生活のしづらさを感じる子に、他の児童が寄り添える。

●おとなしい。受け身。

●学校と外で挨拶が違う。

☆自分のことだけでなく周りや社会に目を向けてほしい。(教員)

☆見守りが必要な時に、人手がほしい。(教員)

☆全校生徒が楽しく学校生活が送れるようにしていきたい。(教員)

【Cグループ： 山内委員、権瓶委員、島、大石、百恵、佐伯、間渕 】

○挨拶がしっかりできる。素直で優しい。

○たくましい。学校の生活のきまりを守ることができる子が非常に多い。

○家庭も協力的で、学校と連携して支援できる。

●友達の気持ちを考えられない、他者の意見を受け入れられない子がいる。

●何事にも粘り強く取り組む姿勢、自分の意見をはっきり伝えられる強さが足りない。

●無理だとあきらめたり、自分に自信がなかったりする子が多い。

☆失敗を怖がらず、何度でも挑戦できる子が多くなってほしい。(教員)

☆自分の考えをはっきり伝え、困ったときは援助を求めて取り組み続けてほしい。

(教員)

☆中部協働センターの子供向けの参加数を増やしたいが、企画側と子供のニーズに違いがあるのかもしれない。

(島オブザーバー)

【Dグループ： 杉山委員、杉原委員、山田委員、本間、優美、薫平、引馬 】

○優しい。元気。素直。まじめ。思いやりがある。挨拶ができる。

○男女関係なく仲がよく、異学年の交流が盛ん。

●粘り強さが欠けている。

●主体性をもっと伸ばしたい。

☆手洗い、うがいをしっかりしてほしい。(教員)

☆ラジオ体操にもう少し参加してほしい。体力をつけてほしい。(地域住民)

☆多種多様な経験をしてほしい。(委員)

〈今後に向けて〉

- ・ 閉庁日の水やり、一斉下校の見守りなどで教員の負担が減ったり、人材バンクなどを活用して地域の方々を知る機会が増えたりすると良い。
- ・ 児童の体験など、学校でできないことを地域にお願いしていく。
- ・ 学校と家庭・地域で話し合いの機会を増やし、協力していく。

その他報告事項等

- ・ 藤本会長より6月に行われたコミュニティ・スクール研修会の資料をもとに、取り上げられている活動事例の紹介など、報告があった。

- ・ 司会から、次回会議は、令和7年10月23日(木)13時30分から会議室で開催する旨の報告があった。